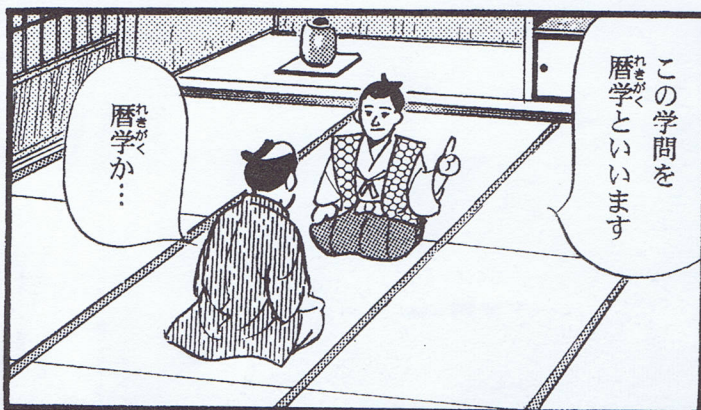
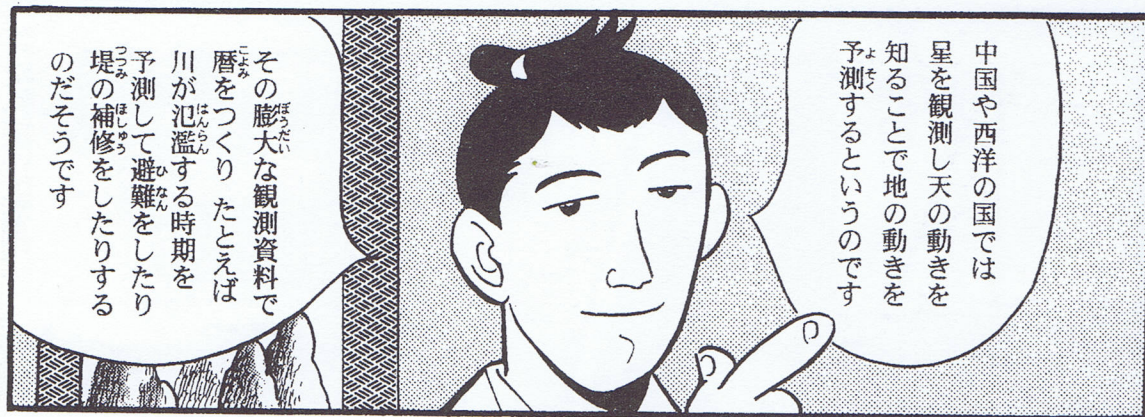
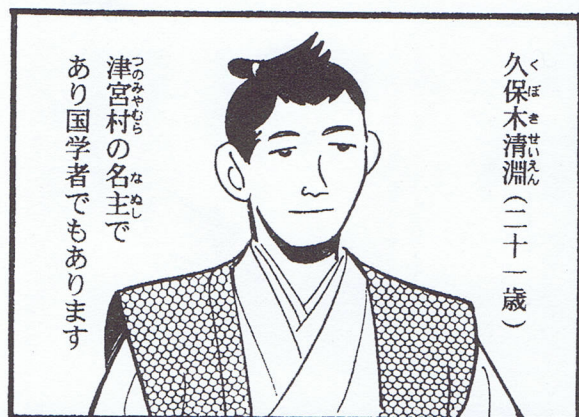
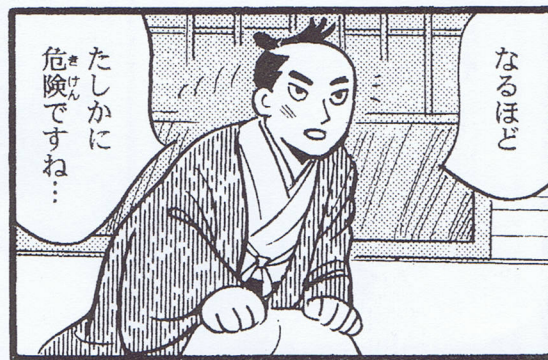
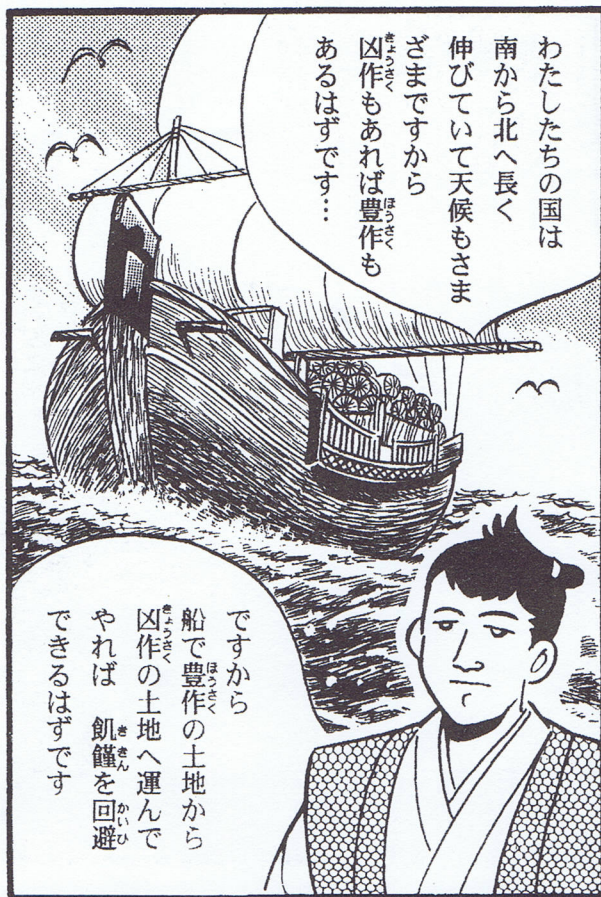






天明の飢饉は
いまだ続いて
おり…

田畑から
作物はとれず
人々は苦しんで
いました

そんな中
忠敬は…

久保木清淵の話を
何度も思い返して
いました…

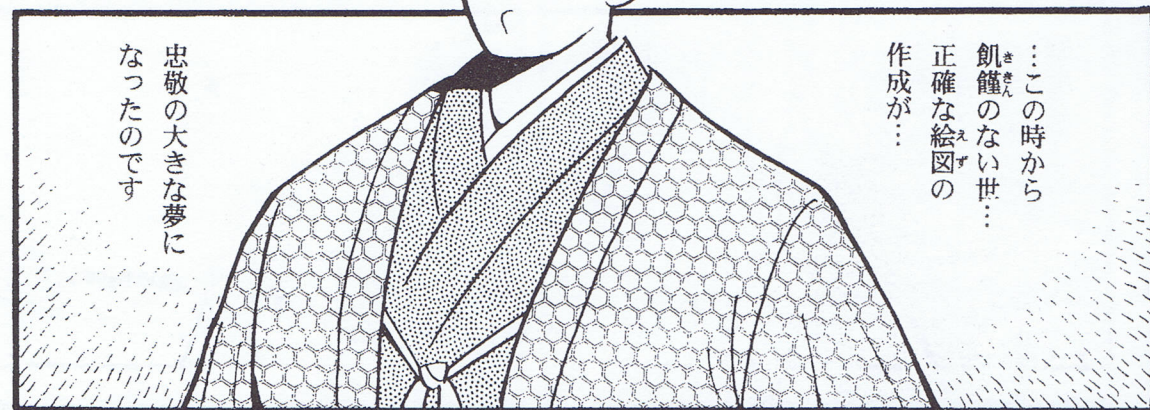
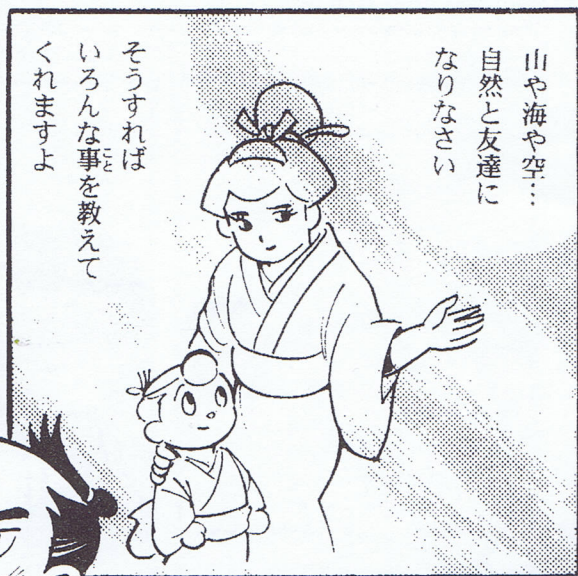
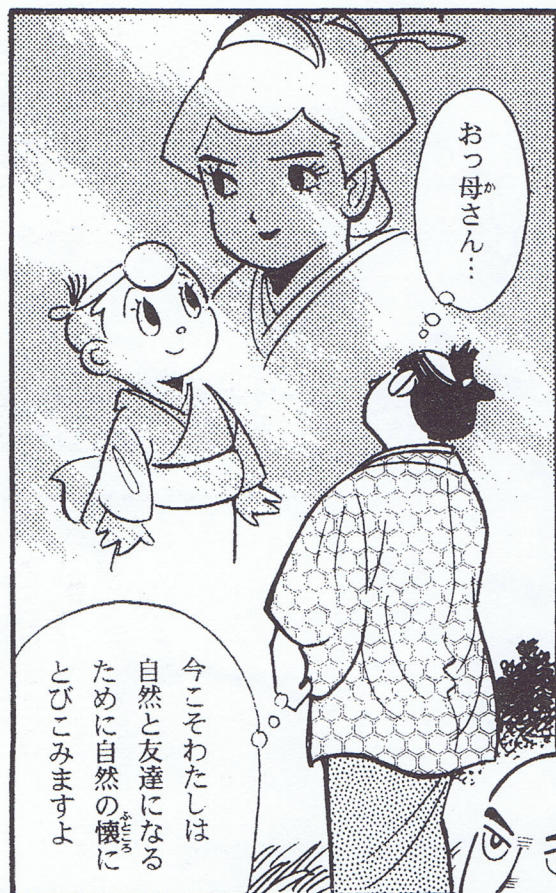
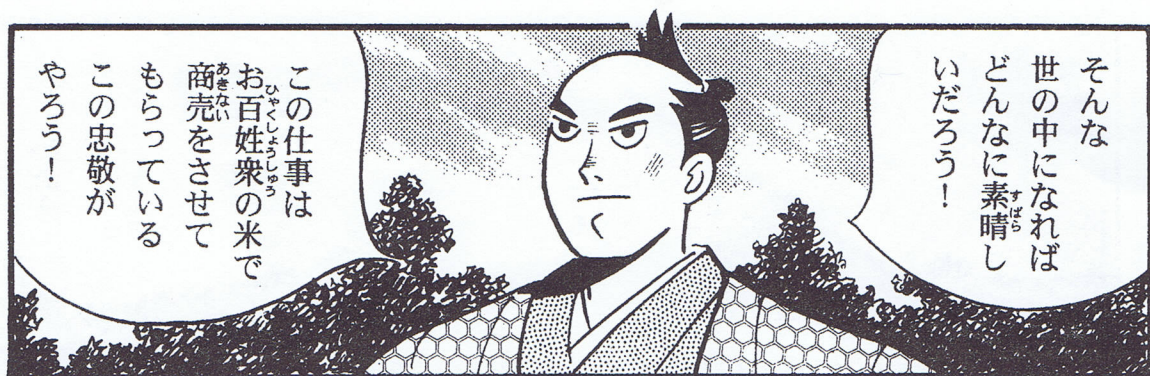
正確な絵図があれば
船で豊作の土地から
凶作の土地へ米を運ぶ
ことができるのです…

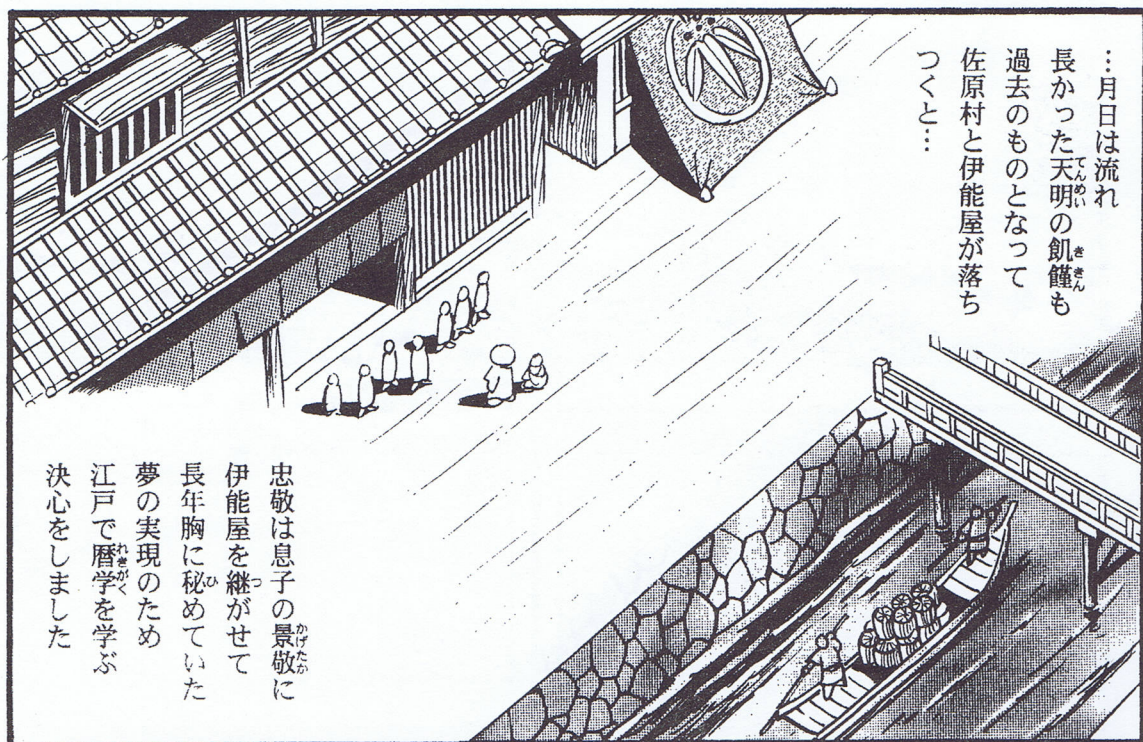
正確な絵図が
あれば飢饉が
なくなる…

そして天の観測で
大雨や洪水の予測が
できる…

そうならば
たくさんのお百姓衆が
救われる

飢饉のない世…





…月日は流れ
長かった天明の飢饉も
過去のものとなって
佐原村と伊能屋が落ち
つく…

忠敬は息子の景敬に
伊能屋を継がせて
長年胸に秘めていた
夢の実現のため
江戸で曆学を学ぶ
決心をしました



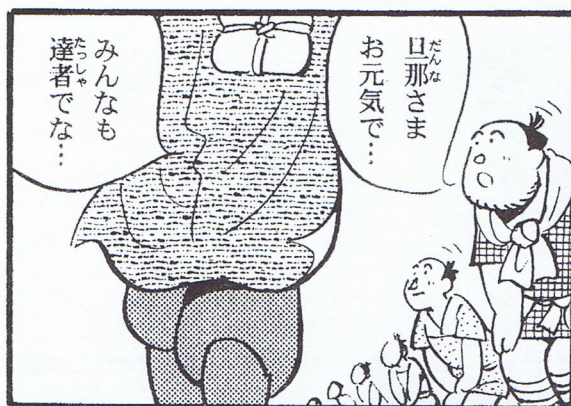
うむ
景敬お前も
しっかりな
みんなも景敬を
盛りたててやって
おくれ



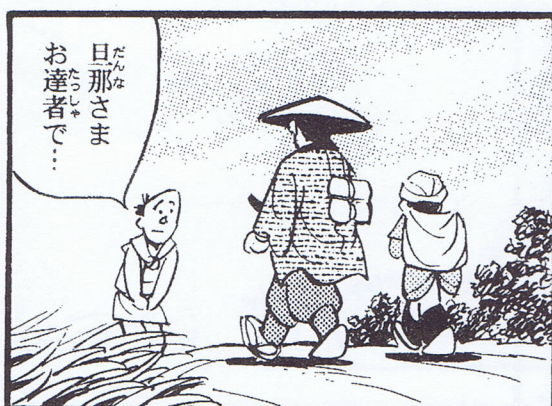
旦那さま
お元気で…



では
お父つつあん
くれぐれも体を
大切に



旦那さま
お元気で…
みんなも
達者でな…



旦那さま
お達者で…

